



六花

令和6年2月22日
 新潟市立新関小学校 学校だより 第8号
 〒956-0825 新潟市秋葉区下新766
 TEL: 0250-22-0995 FAX: 0250-22-6529
 題字: 中村 白香

「ありがとう」の力

校長 石塚 智久

年度末を迎え、5年生を中心に、6年生の卒業を祝い最上級生への感謝の思いを伝える「6年生ありがとう旬間」が始まっています。3月1日の「6年生を送る会」に向けて、縦割り班での「仲よし遊び」や感謝のメッセージ垂れ幕づくり、出し物の歌やダンスの練習などの準備が進んでいます。一方6年生でも、お世話になった人や校舎、地域に「ありがとう」の気持ちを伝えるために、子どもたちが相談して活動を計画しています。また先日は、給食センターの栄養教諭の先生をお迎えして「給食ありがとう集会」を行いました。

普段から学校では、多くのボランティアさんが学習に参加していただき、子どもたちはその都度「ありがとうございます。」と挨拶をします。また自分が言うだけでなく、色々な調査結果を見ると、子どもはもちろん世代を問わず、「言われてうれしい言葉は？」とのアンケートに「ありがとう」が必ず上位に入っています。全校朝会でこの質問をしたところ、やはり「ありがとう」を真っ先に答える子が多くいました。「ありがとう」は子どもにとって、お礼や感謝を伝える身近な言葉であると同時に、子ども自身も言われて嬉しい魅力をもつ言葉なのです。「ありがとう」が自然に言える子どもに育ってほしいと考え、「ありがとう」の言葉に込められた思いや言葉のもつ力について、子どもたちに話しました。

「ありがとう」は「^あ有り^{がた}難い」がもとになっており、字のとおり「有ることが難しい」「滅多にない大切なこと」との意味があり、そもそもは釈迦が弟子に説いた「^{もう}盲^き亀^ふ浮^{ぼく}木」のたとえが由来なのだそうです。

【盲亀浮木】

釈迦は弟子に「深海に棲む、百年に一度しか海面に出ない目の見えない年老いた亀が、遮るもののない海の真真中で、百年ぶりに海面に顔を出したとたん、たまたま海原を漂っていた流木の穴に頭がはまる。絶対に無いとはいきれないが、有りえないくらいに難しい。私たちが人間に生まれたことは、それくらい難しい、有り難いことなのだ。」と説いたという。

この話が示すように、「ありがとう」は「めったにないこと、とても大切なできごと」というそもそもの意味があります。ですので「ありがとう」の反対言葉は、「あたりまえ」です。「あたりまえ」は「ありふれていること、そうあるべきこと、もったもなこと」という意味です。「人に意地悪をしない」とか「自分のことは自分でする」など、もったもなこととして大切な「あたりまえ」があることはもちろんなのですが、こと「ありがとう」については、「あたりまえ」と履き違えてしまうと、なんだかおかしいことになってしまいます。例えば…



給食を作ってくれて、ありがとう。 ⇔ 給食を作ってもらって、あたりまえ？
 6年生が優しくしてくれて、ありがとう。 ⇔ 6年生に優しくしてもらって、あたりまえ？
 ボランティアさんが手伝ってくれて、ありがとう。 ⇔ ボランティアさんに手伝ってもらって、あたりまえ？

子どもたちは誰かに何かをもらって、「あたりまえ」になっていないでしょうか。「あたりまえ」ではない、大切なことだと感謝を込めて「ありがとう」が言える子どもに育ってほしいと思います。この感謝の気持ちが込められているからこそ、「ありがとう」は魅力のある言葉なのだと思います。脳科学の研究では、「ありがとう」と言われた人だけでなく、「ありがとう」を言った人も、感謝の気持ちをもつことで、セロトニンやドーパミン、エンドルフィンといった脳と体に良い作用を及ぼすといわれる「幸福ホルモン」が、脳内で盛んに分泌されるそうです。言葉を交わすことで実際にお互いに幸せを感じられることから、「ありがとう」が人と人をつなぎ、仲良くなり、信じ合える力をもつ言葉なのだとわかります。



「あたりまえ」と思わず、相手も自分も幸せになり、人との絆を結ぶ魔法の言葉として、大人も子どもも「ありがとう」を大切に、「ありがとう」があふれる学校、家庭、地域にしていきたいですね。

今年もたくさんの記録更新！校内なわとび記録会

1月26日（金）に、恒例のなわとび記録会を行いました。縦割り班での1分間の大なわと、一人2種目を選んで30秒間に何回とべるかを挑戦する短なわです。目指すは歴代記録の更新！どの子もめあてをもって取り組みました。最初は大なわに入れなかった1・2年生も、上級生がタイミングを教え、背中を押し、励ましながら練習を重ねてぐんぐん上達しました。個人の短なわは、得意種目の技を磨き、本番は途中で引っかかってもあきらめずに挑戦しました。めあてを達成した子、残念ながら一歩及ばず悔しい思いをした子それぞれですが、どの子にも、今年の結果を来年のめあてにつなげることを大切に指導しています。今年の記録会は終わりましたが、来年も自分の記録そして歴代記録更新をめざして、挑戦は続きます。



記録会当日は大勢の皆様から応援においでいただきました。また、記録測定ボランティアにたくさんの方からご協力いただきました。ありがとうございました。

<p style="text-align: center;">1年生 Sさん</p> <p>かけあしとびを49かいとんだので、すごくうれしかったです。2ねんせいになったら、二じゅうとびをしたいです。たんなわがさいしょよりじょうずになったのでよかったです。大なわは、さいしょまく入れなかったけど、はんの人におしえてもらって入れるようになってうれしかったです。</p>	<p style="text-align: center;">2年生 Tさん</p> <p>かけ足とびが30回よりきろくがあがって、うれしかったです。前とびがきょ年より少なかったから、来年は前とびがいっぱいとべるようになります。6年生が大なわに入るタイミングを教えてください、本番は前の人につづいてなわに入ることができました。うれしかったです。</p>	<p style="text-align: center;">3年生 Oさん</p> <p>あやとびをはじめた時はぜんぜんとべなかったけれど、自分でコツを見つけたりしてうまくとべました。後かけ足はスピードはおそかったけれど、たくさんやったら早くなりました。本番もちゃんととべました。来年は少しレベルをあげてとびたいです。</p>
<p style="text-align: center;">4年生 Hさん</p> <p>二重とびはめあての40回いかなかったけれど、最初よりスピードもはやくなったのでうれしいです。最高記録を出せたのでよかったです。長なわは最初は全然声かけができなかったけど、本番では1、2回目どっちも目標の50回とべたし、やさしい声かけができたのでよかったです。</p>	<p style="text-align: center;">5年生 Nさん</p> <p>長なわの練習を始めたころは、1・2年生がついていくのがむずかしかったけれど、練習して、みんなうまくできました。なわとび記録会では、あまり調子はよくなかったけれど、できてよかったです。6年生では、もっとむずかしい技にもちよう戦って、できるようになりたいです。</p>	<p style="text-align: center;">6年生 Kさん</p> <p>なわとび記録会でがんばったことは二つあります。一つ目は個人種目です。かけ足と二重とびをしました。どちらも練習より記録がのびてよかったです。二つ目は長なわです。練習の時は41回が最高記録でした。今回は49回いけました。本番で最高記録が出て、よかったです。</p>
<p>【令和5年度歴代記録更新】 種目：男子後ろ二重とび 5年生 Tさん 62回 ※ 各学年の男女別記録では、16種目で学年記録が更新されました。</p>		

秋葉区交通安全協会新関支部様より 児童用カサをご寄付いただきました

児童玄関に、黄緑色の児童用カサが常備してあります。このカサは、秋葉区交通安全協会新関支部様から、子どもの安全に役立ててほしいというご厚意で、寄付いただいているものです。今年度も、2月5日（月）に支部長様よりたくさんのカサをいただきました。蛍光色で車から良く見えるだけでなく、子どもの視界を遮らないよう透明ビニールが貼られており、安全に配慮したカサです。突然の雨やカサを忘れた時、自分のカサが強風にあおられ壊れてしまった時などに、子どもたちはこのカサにとっても助けられています。今年度も、これまで子どもたちは交通事故に遭わずに過ごしています。地域の皆様の温かいお気持ちと、毎日の見守りのおかげで子どもたちの登下校の安全が守られていることに、心より御礼を申し上げます。

